

§ ギャラリーご利用上の注意 §

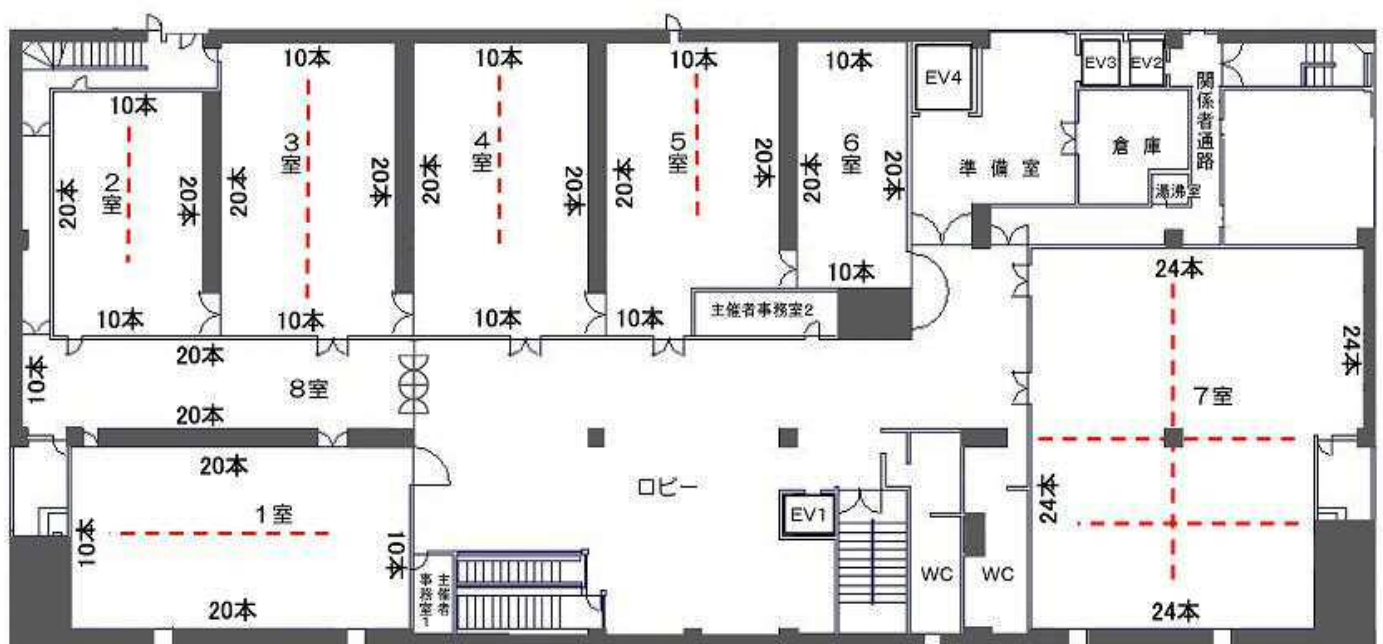
名古屋市博物館をご利用いただき、ありがとうございます。

「博物館ギャラリー利用について」をよくお読みのうえ、ご利用をお願いします。
次の事項には特にご注意ください。その他のご不明な点は、総務課へお尋ねください。

- 1 搬入・搬出作業が終了しましたら、係員もしくは警備員の点検を受けてください。
この時、ギャラリーの施錠には必ず立ち会いをお願いいたします。
- 2 展示には壁面・床面とも粘着テープ類は使用しないでください。
壁面に題名札をつける際は直径1ミリ以内の虫ピン・画鋲をお使いください。
お貸しした看板の台板についてものり・粘着テープ類は使用しないでください。
枠の部分に画鋲かピンでつけてください。
また、作業中に脚立等で壁面を傷つけることのないようご注意ください。
- 3 展示する前に、作品や額の裏面などが汚れていないか確認してください。
汚れている場合は、①キャンバス地をカット、②ガムテープで裏打ち、など、
壁面に汚れが付かないようご配慮ください。
乾燥していない作品の展示はご遠慮ください。
彫塑作品等、床に作品を置かれる場合は、床と作品の間に養生をしてください。
- 4 博物館資料の保存に有害な害虫・カビの発生を防ぐため、生花などの動植物や土のついたものなどをギャラリーやロビーに持ち込まないようお願いします。
- 5 ご観覧のお客様のご迷惑になりますので、表玄関からの搬出はご遠慮願います。
- 6 ギャラリーは市民の文化向上の助けとなる展覧会開催のための公共施設です。
物品の販売（許可を受けた展示品の図録等は除く）はご遠慮ください。
またチラシ配布、ポスター掲示（作品は除く）、会員勧誘、募金活動はお断り
いたします。
- 7 ギャラリーで記帳を行われる場合は、個人情報の保護にご留意ください。
- 8 名古屋市内及び近隣で新型インフルエンザが発生した場合、市の方針に基づき、
利用の自粛を要請したり、臨時に施設を休館したりする場合があります。
- 9 南海トラフ地震に関連する情報(臨時)が名古屋市に発表されているときは、
施設を休館いたします。
- 10 事務参考用に展覧会開催状況を写真撮影させていただきます。ご協力ください。
- 11 ギャラリーや使用物品は、必ず元の場所、状態に戻してください。
ワイヤー、フック、間仕切りパネル等の取扱いについては、裏面をご覧ください。
- 12 主催者事務室以外での飲食はご遠慮ください。（搬出入時含む）
- 13 搬出入及び会期中に生じたゴミはお持ち帰りください（ペットボトル、空箱等）。
- 14 展覧会当番の方は、朝9時10分頃には受付を済ませギャラリーへお入りください。

※展覧会開催中は大変混み合います。ギャラリー当番の方の駐車場利用はご遠慮ください。

- 1 ワイヤーは大切に扱ってください。丸める・ピンを刺す等はお断りしております。フックは、上のネジを緩めてから押すと高さの調節ができます。
- 2 会期中、不要なワイヤーを外した場合は準備室内倉庫の指定場所に保管してください。その際ワイヤーフックはワイヤーにつけたままで保管してください。足りないときはお貸ししますので、係員もしくは警備員までお申し出ください。
- 3 展示内容によりワイヤーの増減を行った際は、搬出時に下記図の本数に戻してください。
ピクチャーレール(天井のへり)に黒い印が付いていますので、それに合わせてください。
- 4 ワイヤーに通してあるフックは、搬出時に手の届く位置へ戻してください。
- 5 間仕切りパネルを設置する際は、転倒しないよう次の点にご注意ください。
 - ① パネル用ワイヤーがしっかりと張っており、また固定用金具がきちんと止めてあるか
 - ② パネルの上部にあるバー（2箇所）のうち、1箇所を蝶ネジで固定してあるか
 - ③ パネル用ワイヤーに転倒防止用ワイヤーを交差させた箇所を金具で固定してあるか
- 6 間仕切りパネルへ直に作品を展示する際は、パネルボードフックをお貸ししますので、係員か警備員にお申し出ください。
チェーンを使用して展示する際のSカン等は各自ご用意ください。
- 7 スポットライトを使用する場合は係員か警備員にお申し出ください。
- 8 脚立、展示用やぐらを使つての高所作業は危険ですので、事故のないよう充分ご注意ください。
- 9 主催者は、事前に非常口及び避難経路を確認し、来場者への周知をはかってください。ただし、使用を許可された場所以外への不要な立ち入りはご遠慮ください。



ギャラリー	1室	2室	3室	4室	5室	6室	7室	8室
ワイヤー総本数	60本	60本	60本	60本	60本	60本	96本	50本

--- パネル設置可能箇所